

# 「多様性が活かせることばの教育実践」 第3回 実践交流会 in 福岡

日 時： 11月9日(土)13時30分～16時30分  
会 場： 公立大学法人 福岡女子大学(福岡市東区香住ヶ丘1-1-1)講義棟 教室  
定 員： 対面による実践交流会 30名程度  
対 象： 小中高校で外国人児童生徒等に対する教育に関わる方  
日本語教育・支援の一定の経験を有する教員・支援員・支援者  
申し込み： こくちーずpro.⇒([https://kokc.jp/e/unitc\\_koryu3/](https://kokc.jp/e/unitc_koryu3/))  
申込期間： 9月26日～10月31日

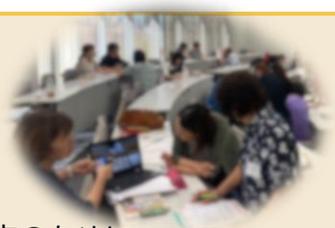


東京学芸大学外国人児童生徒教育ユニットでは、オンライン研修(2タイプ・全6回)に加えて、日本語教育・支援の一定の経験を有する教員・支援員・支援者の皆さんが、相互に実践を語り合い・学び合う場を設けることにしました。子どもたちも多様(言語・文化背景、来日の経緯や滞日期間、ことばの力や認知・学力の発達状態)であれば、教育・支援現場も多様(地域の多文化化の状況、組織・団体としての考え方、日本語教育・指導の仕組み、人的配置)、そして携わる者も多様(立場・教育経験・教育観・言語指導の知識・技能)です。立場は違えども多くの皆さんが、子どもたちがことばを豊かに運用できる力を高めるための教育活動・支援活動に創意工夫をなさっています。この実践交流会では、そうした皆さんが、自身の実践について語り、具体的なアイデアを共有するとともに、その背後にある子ども観、学習観、言語観を交差させながら、次なる実践を展開するための創発を得る活動を行います。

第3回では、私たちの実践を振り返り、子どもの教科学習能力の育成やキャリア形成に向けて多様性が活かせる新たな実践へとつなげていくことを目的にしたいと考えています。参加される皆さんが、次なる「子どもたち・現場・教員の多様性が活かせる実践」を生み出されることを期待しております。是非、ご自身の実践をもってご参加ください。第3回は福岡で行います。九州在住の方はもちろんのこと、全国からのご参加をお待ちしております。

## プログラム

- 13:00- 受付開始
- 13:30-13:40 開会・趣旨説明
- 13:40-14:00 講話「多様性が活かせる学びのデザインー実践交流の視点のために」  
吉谷武志  
(東京学芸大学 名誉教授 ・ NPO ともに生きる街心くおかの会 代表理事)
- 14:00-16:00 実践交流会・全体共有
- 16:00-16:10 閉会
- 16:10-16:30 交流・情報交換



### 「実践」って??

単元や1時間単位の日本語の授業に限りません。「ことばの教育」に関わる日頃の教室活動、「多様性が活かせる」子ども同士の関係づくり等の工夫や取り組み、校内のチームづくりや学校・地域の連携のチャレンジ等も含まれます。

例) ・中学1年「どんな部活動がある？」(JSLトピック型) ・「あさがお教室(日本語学級)」の掲示・地域での学びを在籍学級で生かす工夫

### ●交流会に参加される皆様●

交流の時間に、ご自身の実践をご紹介いただきます。参加のお申し込みと同時に、紹介くださる実践の概要(対象・実践の場・活動のタイプ・持参する資料等)を、こくちーずpro.にご記入ください。

お問い合わせ

〒184-8501  
東京都小金井市貫井北町4-1-1東京学芸大学 C9号館 108  
knihongo@u-gakugei.ac.jp (担当:工藤・稲田)  
ウェブサイト <https://kodomonihongo.u-gakugei.ac.jp/>